

令和4年度 山口県地域福祉推進セミナー（第1回） ～ヤングケアラー 子どもたちを地域で支えるために～ 開催要項

1 趣 旨

家族の世話や介護を日常的に行う子どもや若者のことをヤングケアラーと呼ばれています。昨年4月に国が公表した調査結果では、「世話をしている家族がいる」と回答した生徒が、中学生の5.7%でおよそ17人に1人が、高校生の4.1%でおよそ24人に1人となっています。また、ヤングケアラーと自覚している子どもは約2%となっており、ヤングケアラーのことを「聞いたことはない」との回答が8割を超えていました。

ヤングケアラーの認知度は高くなく、支援が必要な子どもがいても、子ども自身や周囲の大人が気づきにくい現状にあるため、ヤングケアラーの社会的認知度の向上を進めるとともに、福祉、介護、医療、教育等の関係機関が連携し、適切に支援できるようヤングケアラーに気付く体制の構築が求められています。

そのような状況に対し、国においては、令和4年度よりヤングケアラーについて、早期発見・把握、相談支援などの支援策に推進、社会的認知度の向上に集中的に取り組むこととしています。

そこで、今回のセミナーでは、声を上げられずに孤立してしまうヤングケアラーたちに、どう気づき、支援につなげることができるのか、ヤングケアラーについて正しく理解し、多くの関係機関や団体、地域住民が協働しながらヤングケアラーに気づき、支援につなげることができる地域づくりを進めることを目的に開催します。

2 主 催

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

3 後 援（予定）

山口県、山口県民生委員児童委員協議会、山口県自治会連合会、山口県老人クラブ連合会、山口県地域包括・在宅介護支援センター協議会、やまぐち県民活動支援センター、山口県共同募金会（順不同/法人格省略）

4 日 時

令和4年6月27日（月）
午後1時30分から午後4時まで

5 会 場

山口県総合保健会館 2階 多目的ホール
（山口市吉敷下東3丁目1番1号 TEL:083-934-2200）

6 参加費

無料

7 対 象

市町社会福祉協議会役職員、コーディネーター、地区社会福祉協議会役職員、民生委員・児童委員、主任児童委員、福祉員、ボランティア、老人クラブ会員、自治会・町内会関係者、NPO、施設役職員、スクールソーシャルワーカー、区市町行政職員、学生、その他地域福祉活動に興味のある方

8 日 程

プログラムの詳細については、別添「研修会プログラム」に記載しています。

12:30～	受 付
13:30～	開 会
13:40～14:50 [70分]	基調講演 「ヤングケアラー 子どもたちを地域で支えるために」 ～子どもたちに寄り添い、孤立させないために私たちにできること～ 【講師】 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 教授 上原 美子 氏
14:50～15:00 [10分]	休 憩
15:00～16:00 [60分]	実践報告 「ヤングケアラーの現状と必要な支援について」 ～子どもたちの現状を知り、ひとり一人ができることを考える～ 【実践報告者】 ・安永 亮太郎 氏 (元当事者) ・いわかね社会福祉士事務所 代表 岩金 俊充 氏 【コーディネーター】 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 教授 上原 美子 氏
16:00	閉 会

9 参加申込方法

令和4年6月10日(金)までに、下記申込フォームからお申込みください。

[申込フォーム (Microsoft Forms を使用しています)]

<https://forms.office.com/r/xFhiPFmGN9>

※申込フォームの URL は、HP でも御案内しています。



※記入いただいた個人情報は、研修会の運営目的のみに使用いたします。

なお、当日資料に所属先、役職名、氏名を掲載いたします。

10 申込み・問合せ先

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
地域福祉部 地域福祉班
担当：中本、和田
〒753-0072 山口市大手町9番6号
TEL (083) 924-2828 FAX (083) 924-2847
e-mail chiiki@yg-you-i-net.or.jp

11 会場周辺図



◆バスをご利用の場合

新山口駅在来線側バスターミナル乗り場4番より、山口市街方面
【大歳・維新公園経由】行きのバスに乗車〔防長バス〕
大橋停留所下車(バス乗車時間約30分、徒歩約5分)

◆鉄道をご利用の場合

新山口駅よりJR山口線【下り：山口・益田方面】行きに乗車
・矢原駅下車(JR乗車時間約15分、徒歩約25分) 駅から約2km
・湯田温泉駅下車(JR乗車時間約20分、徒歩約25分) 駅から約2km
※両駅ともタクシーの常駐なし

◆新山口駅よりタクシーをご利用の場合

約25分(渋滞することがありますので、余裕をもってお越しください。)

◆車でお越しの場合

- ・中国自動車道 小郡ICから約6km
- ・山陽自動車道 防府東ICから約25km

ープログラムー

■基調講演 午後1時40分から午後2時50分まで

「ヤングケアラー 子どもたちを地域で支えるために」

～子どもたちに寄り添い、孤立させないために私たちにできること～

講師： 埼玉県立大学 保健医療福祉学部

埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 教授 上原 美子 氏

《目的》

日常的に家族の世話や介護を行っている子どもや若者のことを“ヤングケアラー”と呼ばれていますが、昨年4月に公表された国の調査では、中学生の5.7%でおよそ17人に1人いると報告されています。しかしながら、家庭内での問題のため実態の把握が難しいうえに、子ども自身や周囲の大人が気づきにくいことから、表面化しづらい現状です。そういった子どもたちを必要な支援につなぐために、福祉、介護、医療、学校等の多様な連携の強化が課題となっています。

ヤングケアラーの現状と、ヤングケアラーたちに気づき、支援につなげるために、私たちに何ができるのか、どのような支援につなぐことができるのか、地域住民にできること、福祉、介護、学校などの専門職にできること、地域全体で支え合うために地域住民と専門職との関わりなどについてご講演いただきます。

《講師プロフィール》

埼玉県立大学 保健医療福祉学部

埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科

教授 上原 美子（うえはら よしこ） 氏

◆現在の専門分野

- ・学校精神保健、養護学

◆学歴・取得学位

- ・博士（医学）／P h . D
- ・修士（教育学）

◆所属学会

- ・日本思春期学会
- ・日本健康教育学会
- ・日本学校健康相談学会
- ・日本健康相談活動学会
- ・日本公衆衛生学会
- ・埼玉県立大学保健医療福祉科学学会
- ・日本保健福祉学会
- ・日本パペットセラピー学会
- ・日本養護実践学会
- ・日本学校保健学会
- ・日本養護教諭教育学会
- ・日本体力・栄養・免疫学会
- ・日本小児精神神経学会
- ・日本公衆衛生看護学

◆ヤングケアラープロジェクトへの参加

（一社）ケアラー連盟主催のプロジェクトにおいて若い世代のケアラーを支えるための仕組みを考えること目的に活動されています。

■実践報告 午後3時から午後4時まで

「ヤングケアラーの現状と必要な支援について」

～子どもたちの現状を知り、ひとり一人ができることを考える～

◆実践報告者

- ・安永 亮太郎 氏
- ・いわかね社会福祉士事務所 代表 岩金 俊充 氏

◆コーディネーター

- ・埼玉県立大学 保健医療福祉学部
埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 教授 上原 美子 氏

《目的》

日常的に家族のお世話をされていた元当事者の方とスクールソーシャルワーカーとして子どもたちを支援する立場の方に、体験されたこと、地域の方々や福祉関係者にどのような関わり方をして欲しいかなど、思いも含めてお話いただきます。参加された方々がヤングケアラーを正しく理解し、今後の地域福祉活動に活かすための学びの場になればと考えています。

《実践報告》

「知ってほしいヤングケアラーのこと」

報告者：安永 亮太郎 氏

ほぼ毎日家族のお世話をしている子どもや若者たちのことを知っていますか。

元当事者の立場から、家族のお世話をしていた時の生活状況や、困っていたこと、悩んでいたことなどについてお話していただきます。

「子どもたちのSOSに気付いて寄り添う」

報告者：いわかね社会福祉士事務所 代表 岩金 俊充 氏

スクールソーシャルワーカーとして多くの子どもたちと関わっておられます。

ヤングケアラーと思われる子どもたちに気付くきっかけはどのようなことか、ヤングケアラーと思われる子どもたちとその家庭との関わり、他の専門職、機関との連携などについてお話していただきます。

セミナー参加者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の感染予防、感染拡大防止のためお願い

本会では、新型コロナウイルス感染症の感染予防、拡大防止のため、以下の対策を行っております。参加者の皆様には、御留意いただき、御参加くださるようお願いいたします。

1 事前の感染予防対策について

- セミナー当日の朝は、体温測定による発熱や咳、強い倦怠感などの感冒症状の有無を確認いただき、体調が悪い場合は出席を遠慮願います。
- セミナーの2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等されている場合は、参加を遠慮願います。

2 会場における感染予防対策について

- 会場に入る際は、適宜手洗いや手指の消毒を実施してください。消毒液は会場出入口に準備いたします。
- 入室前に受付において検温を実施します。
- マスクを持参の上、着用してください。
- セミナー途中で体調が悪くなった場合は、速やかに事務局職員に申し出てください。

3 参加者から感染者が発生した場合の対応について

- 参加者に対して本会から連絡を取り、症状の確認を行うことがありますので、御協力をお願いします。場合によっては、保健所などの公的機関から連絡がある場合があります。
- 保健所などの間取りにより濃厚接触者となった場合は、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請の可能性があります。

4 その他

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が確認され、緊急事態宣言が発令される場合や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置が必要と判断される場合は、セミナーの中止や延期を検討します。

御理解と御協力をお願いいたします。